

# 平成 26 年度事業報告

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

# 平成 26 年度事業報告

## 1. 言語力向上に関する事業

### 1) 制度・政策活動、読書基盤づくり事業

#### ① 学校図書館活性化のための活動

##### 「改正学校図書館法とこれからの課題を考える集い」

6月の通常国会で学校図書館法が改正され、「学校司書」の法制化が実現。それを受けて、10月14日に衆議院第一議員会館で開催。学校司書配置の促進をはじめ様々な問題解決に向けた、政官民による連携した具体的な取り組みが提案された。超党派国会議員、出版関係者、学校図書館関係者など、300名が参加。



#### ② 消費税軽減税率導入のための活動

##### 「文字・活字文化と国民のくらしを考える緊急集会」

6月6日、参議院議員会館で開催。消費税引き上げに際し、生活必需品などと同様に、新聞・書籍・雑誌についてもニュースや知識、文字・活字文化の持続的な発展を図るために、軽減税率適用の必要性を訴えた。各党代表、新聞・出版関係者の意見発表、報告のほかアピールも採択。超党派国会議員、新聞・出版業界関係者など約330名が参加した。



#### ③ 海外事業者への公平な課税適応について

##### 「海外事業者に公平な課税適用を求める緊急フォーラム」

4月10日にこの件に取り組む国会議員を招き、国会での取り組み状況やこの問題の実態をより多くの関係者と共有することで、是正に向けた活動の方向性の確認をした。



#### ④読書推進フォーラム

##### フォーラム「絵本の魅力と可能性を考える」

8月24日、大阪市北区・グランフロント大阪で開催。山根基世さん(アナウンサー)のお話しと朗読、立田慶裕さん(神戸学院大学教授)の調査研究報告、柳田邦男さん(作家)の講演をおこなった。580名が参加。



##### 読書シンポジウム「戦国武将と読書」〔共催：東京都〕

3月22日、文京区・東洋大学で開催。小和田哲男さん(静岡大学名誉教授)が有名な武将の読書事情とその偉業との関わりについて講演。その後のパネルディスカッションでは、本郷和人さん(東京大学資料編纂所教授)、中川翔子さん(タレント)、橋本五郎さん(読売新聞特別編集委員)が「若者と読書」をテーマに討論をおこなった。600名が参加。



## 2) 読書・体験活動事業

### ①「高校生書評合戦東京大会・首都大会」〔共催：東京都 東京都教育委員会〕

高校生がお薦めの本を発表し合い、参加者らが一番読みたいと思う本(チャンプ本)を決める大会、「高校生書評合戦」を開催した。

#### 「平成26年度高校生書評合戦東京都大会」

9月28日、新宿区・都立戸山高等学校で都内の各学校代表生徒298名が、お気に入りの本について発表し、各会場での投票によりチャンプ本を決めた。この大会で選ばれた14名の生徒は東京都代表として、「高校生書評合戦首都大会」の準決勝へ出場した。



#### 「平成26年度高校生書評合戦首都大会」

11月15日、渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センターで、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の子選を勝ち抜いた生徒と、夕張高校の代表生徒を合わせた31名が各自のおすすめ本を熱く紹介し、準決勝、決勝を戦った。



## ②朗読とコンサートのつどい「伝えよう日本語の美しさ」〔共催：国立青少年教育振興機構〕

日本語が美しく表現された物語の朗読や、講演、童謡・唱歌をとおして、子どもたちの感性や情緒を育みたいという願いをこめて、山口県、東京都、岩手県の 3 会場で実施。また、東京会場は、「文字・活字文化の日」の記念行事として開催した。

### ▼8月2日 宇部市・渡辺翁記念会館

〔共催：読売新聞社 宇部日報社 伝えよう日本語の美しさ in 山口実行委員会〕

参加者数：1,400 名

朗読：山根基世(アナウンサー)

童謡コンサート：由紀さおり(歌手)、安田祥子(声楽家)

話し：河村建夫(衆議院議員・子どもの未来を考える議員連盟  
会長・当機構顧問)、由紀さおり、安田祥子



### ▼11月3日 千代田区・イイノホール〔共催：活字文化推進会議〕

参加者数：450 名

朗読：山根基世

講演：安藤忠雄(建築家、東京大学名誉教授)

絵本と音楽：堀 玲子(読書アドバイザー)

村山祐季子(音楽家)

コンサート：芹 洋子(歌手)



### ▼3月15日 盛岡市・盛岡市民文化ホール〔共催：岩手日報社〕

参加者数：1,500 名

昔語り：折館一男(一戸町の語り部)

朗読：山根基世

童謡コンサート：由紀さおり、安田祥子



(敬称略)

## 3)言語力向上事業

### 平成 26 年度「言語力検定」

平成 21 年から「読み・書き・考え・伝える力」という総合的なことばの力をはぐくむ一環として「言語力検定」を実施してきたが、「言語力活動」の教育普及に一定の役割を果たすことができたと考え、平成 26 年度から「言語力検定」を中止した。ただし、平成 26 年度に受検を予定していた団体についての移行措置として、3 級を軸に希望に応じて検定を実施した。

## 2. 人材育成・能力開発のための事業

### 1) 子ども読書大使の養成

「読書と体験の子どもキャンプ」〔共催：国立青少年教育振興機構〕

7月24日から4日間、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。全国38都府県51校の小学校5、6年生100名が参加した。子どもたちは野外炊事を体験したり、国立国会図書館や国会議事堂、読売新聞社を見学した。最終日にはワークショップで作成した個性豊かな「読書新聞」をポスターセッション方式で発表した。



### 2) 言語活動・読書推進リーダーの育成

シンポジウム「人をつなぐ言葉」〔共催：日本経済新聞社〕

9月16日に千代田区・日経ホールで開催。作家・辻村深月さんと藤田香織さんのトークショー、西田厚聡さん(東芝相談役)、横山広美さん(東京大学大学院准教授)、立川談四楼さん(落語家)による「自分を伝える」と題したパネルディスカッションをおこない、550名が参加した。



## 3. 情報提供・広報活動のための事業

### 1) 広報活動

活動実績や活動方針、講演会や研修会等の周知、ホームページ、メールマガジン、会報等で読書フォーラムなどの案内や募集、活動報告を行なった。

### 2) JAPAN/MARC頒布活動

国立国会図書館の書誌データ「JAPAN/MARC」「JM-BISC」を頒布。公立図書館、一般企業など26施設・法人与契約した。

### 3) 読書環境整備フォーラム事業

全国リレーシンポジウム「知の地域づくりを考える in 帯広」〔共催：北海道新聞社 十勝毎日新聞社〕

1月17日に帯広市・とがちプラザで開催。片山善博さん(慶應義塾大学教授)の基調講演と太田剛さん(「図書館と地域をむすぶ協議会」設立準備委員会常任理事)の事例報告、片山善博さん、飯田晴義さん(幕別町教育委員会教育長)、吉田真弓さん(前帯広市図書館長)、太田剛さんのパネルディスカッションをおこない、180名が参加した。

